

愛知県環境影響評価審査会セントレア滑走路部会 会議録

1 日時 2024年6月6日(木) 午後1時から午後1時30分まで

2 場所 愛知県三の丸庁舎 地下1階 B101 会議室

3 議事

(1) 中部国際空港代替滑走路事業に係る環境影響評価準備書について

4 出席者

(1) 委員

大石部会長

【オンライン出席】

市野委員、伊藤委員、長田委員、片山委員、北村委員、宮崎委員、横田委員
(以上8名)

(2) 事務局

環境局：平野技監

環境局環境政策部環境活動推進課：

和田課長、鈴木担当課長、国立課長補佐、猿渡主査、渥美主査、林主任

(以上7名)

(3) 事業者等

13名

5 傍聴人

2名

6 会議内容

(1) 開会

・ 会議録の署名について、大石部会長が伊藤委員と長田委員を指名した。

(2) 議事

中部国際空港代替滑走路事業に係る環境影響評価準備書について

・ 資料2及び資料3について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【大石部会長】資料3の公聴会での意見について、事業者において新たに対応すべき内容は無いと理解してよいか。

【事務局】公聴会は、環境の保全の見地からの意見を聴くための場であり、意見に対する事業者の見解を求めるものではない。

また、今回の公聴会での意見は、準備書の縦覧時に提出された一般の方からの意見と同様の内容であり、それらに対する事業者見解は前回の部会資料としてお示ししている。

【北村委員】私が前回の部会でバードストライクに関する意見を出したが、資料2のとおり丁寧に分析していただき、事業者の見解に十分納得できた。

また、公聴会の意見で「バードストライクに対する新たな対策」を求められていたが、それについても今回の資料で十分対応できていると感じた。

【片山委員】今回、バードストライクに関する分析を行った結果、重要種の活動が活発になる時期が分かったことから、工事の時期と重ならないよう配慮できないか。

【事務局】今回の事業実施区域は、基本的に鳥類等の進入を防ぐ対策をしている場所になる。時期によっては鳥類が飛来してくることはあるが、追い払う対策により、しっかりと対応していただくことで考えている。

【片山委員】了解した。

- ・ 資料4について、事務局から説明があった。

【大石部会長】事務局から説明のあった部会報告（案）について、特段、修正を要する意見はないため、この案のとおり部会報告としてよろしいか。

（委員から意見等なし）

【大石部会長】異議なしとされたので、このまま部会報告とする。

（3）閉会